

認知症の人と家族が安心して暮らせる地域

住み慣れた地域の「面的」な支援の仕組みにより…



- ✓ 地域が認知症を正しく理解
- ✓ 友人との交流・趣味・外出などの地域活動が継続可能
- ✓ 様々な地域資源を、必要に応じて利用可能

本人

生活の継続性を維持

家族

負担の軽減

地域の人的資源・社会資源のネットワークによる
「面的」な支援の仕組み

地域支援の取組

実施・参加
支援

地域資源マップ

- 医療機関や相談窓口等、様々な地域資源を掲載した情報集
- 作成・配布・活用の各段階で、顔の見える関係づくりを促進

徘徊SOSネットワーク

- 徘徊等による行方不明の発生時、即座に捜索情報をネットワーク参加者に配信
- ネットワーク参加者の目配り、声かけ等による早期発見

家族介護者の会

- 介護者同士が集い、介護体験や情報を共有
- 介護者の社会的居場所を創出
- 専門職との協働で、研修や相談会も実施可能

介護サービス事業者による地域活動

- 介護サービス事業者が地域の認知症ケアの拠点となり実施
- 専門知識・技術を生かして、地域に応じた取組を展開可能

その他、地域づくりに必要な取組

地域資源

行政

- 自治体(高齢主管課)
- 警察 ■ 消防
- 地域包括支援センター
- 保健所等の出先機関
- シルバー交番 ...etc

地域の住民・組織

- 町内会 ■ 消防団
- 商店会 ■ 民生委員
- 地域活動を行うNPO法人
- 家族介護者の会
- 地域のボランティア
- 認知症サポーター ...etc

ネットワーク会議

企画立案
・
進行管理

介護・医療・福祉

- 介護サービス事業者
- 医療機関
 - かかりつけ医
 - 認知症サポート医
 - 専門医
 - 地区医師会
- 地区社会福祉協議会 ...etc

その他の組織等



- 交通機関
- 広報媒体
- コンビニ薬局等の小売商店
- 配食・新聞配達等の宅配業
- 郵便・宅配便等の輸送業...etc